

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県洲本市 洲本インターチェンジ駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
99.8	届出駐車場 その他駐車場	広場式	14	

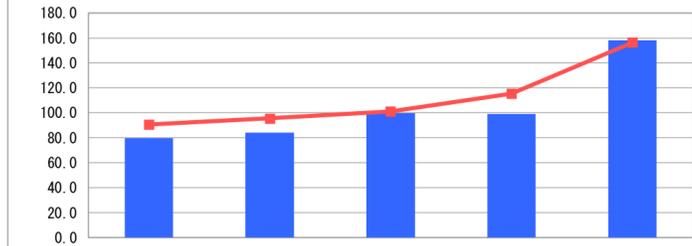
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
無	無	2,624
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
209	300	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値 (当該値)
—	類似施設平均値 (平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 収益等の状況

① 経常収支比率 (%)

[148.0]



② 他会計補助金比率 (%)

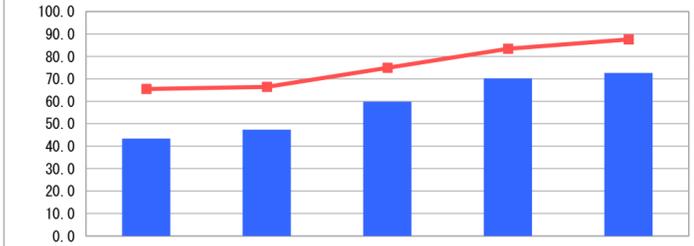
[0.0]



3. 利用の状況

⑩ 稼働率 (%)

[133.4]



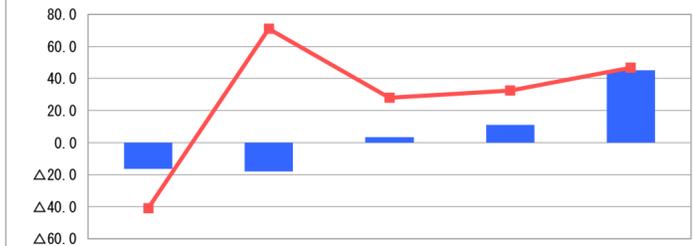
③ 駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

[0]



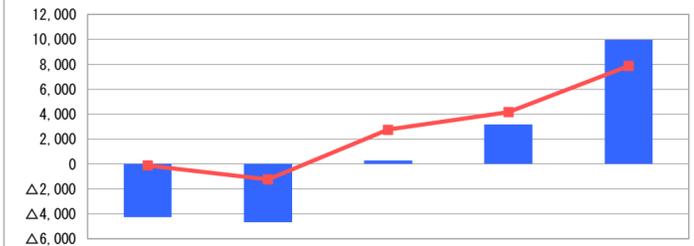
④ 売上高GOP比率 (%)

[50.1]



⑤ EBITDA (千円)

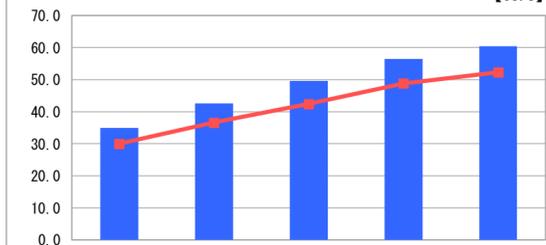
[23,798]



2. 資産等の状況

⑥ 有形固定資産減価償却率 (%)

[65.3]



⑦ 敷地の地価 (千円)

9

⑧ 設備投資見込額 (千円)

1,000

⑨ 累積欠損金比率 (%)

[294.4]



⑩ 企業債残高対料金収入比率 (%)

[4.3]



分析欄

1. 収益等の状況について
令和6年度から指定管理者制度を導入したことにより大幅に経営改善が図られ、経常収支比率は100%を上回った。引き続き安定した経営を維持できるよう、適切な事業運営に努める。

2. 資産等の状況について
当駐車場は駐車場利用者用のトイレを有している。有形固定資産減価償却率は60%程度となっており、将来的には精算機やその附帯設備のほか、駐車場利用者用のトイレの改修等も検討していく必要がある。

3. 利用の状況について
稼働率は上昇傾向にあり、前年度決算との比較では2.4ポイント上昇した。当駐車場は、島外への路線を有する高速バスの停留所に併設していることから、島外への通勤や通学、観光、レジャーなどの利用者が多くを占めている。コロナ禍の影響が解消され、観光やレジャー目的の利用者数が回復してきていること、また、島外への通勤・通学者が近年増加していることが、稼働率上昇の要因と推測される。

全体総括

当駐車場は島外への買い物、レジャーによる利用のほか、通勤や通学による利用が多く、コロナ禍以前の利用状況に回復してきている。令和6年度から指定管理者制度を導入したことで大幅な経営改善が図られ、稼働率も上昇しており、今後も利用者の利便性向上につながるサービスを拡充するなど、一層の利用促進と安定した経営を図る。